

ユーザーズガイド

Windows2000 Windows Server 2003 Windows Server 2008

株式会社日立製作所 ジリオン・ネットワークス 株式会社

(HCLW080707)

= 目次 =

・<u>ソフトウェア概要</u>

- 1. <u>インストール</u> 1-1. <u>インストール前の確認</u> 1-2. <u>インストール</u>
 - 1-3. <u>サービスの起動</u>
- 2. <u>動作確認</u>
 - **2-1**. <u>サービス開始のチェック</u>
 - 2-2. サーバソフトウェア側 設定の確認
 - 2-3. メッセージ表示のチェック
 - 2-4. シャットダウン動作のチェック

3. <u>基本動作</u>

- **3-1**. <u>シャットダウン</u>
- 3-1-1. <u>停電発生時</u>
- 3-1-2. スケジュール運転での停止時
- 4. <u>動作条件の設定</u>
 - 4-1. <u>シャットダウンのページ</u>
 - **4-2**. <u>ホストのページ</u>
 - **4-3**. <u>スクリプトのページ</u>
 - 4-4. <u>ヒストリのページ</u>
- 5. <u>アンインストール</u>



- 1. 本マニュアルに記載されたソフトウエアは、ソフトウエア使用許諾契約の下で供給されています。
- 2. 本マニュアルの内容の一部または全部を無断で転載することは禁止されています。
- 3. OSの種類、バージョンまたはコンピュータの機種によって、本マニュアルの内容が実際と食い違う場合がありますのでご注意ください。
- 4. 本マニュアルおよびそこに記載されている製品を使用したことによってシステムや機器に 万一トラブルや故障が発生しても、弊社は原因の如何にかかわらず一切その責任を負い かねますのでご了承ください。
- 5. 本マニュアルの内容およびそこに記載されている製品の仕様は、将来予告なしに変更することがあります。
- 6. 製品の内容については万全を期していますが、ご不審の点、誤りおよび本マニュアルの記載漏れなどお気付きの点がありましたら、弊社までご連絡ください。
- 7. ソフトウェアの改善が必要になった場合は、下記サポートページで告知します。サポートページからパッチキットをダウンロードしてください。
- 8. ソフトウェアご購入時にご使用になるOSを選択いただいております。選択いただいていないOSでは使用しないでください。

||||| 商標について |||||

- Microsoft Windows は、Microsoft Corporationの米国およびにその他の国における登録商標です。
- 本マニュアルに記載されている会社名、製品名は、各社の商標および登録商標です。

||||| 保証期限 ||||

- •本商品の供給媒体の材料および製造上の瑕疵に対する保証期限は、お買い上げ日から3ヶ月です。
- •本商品に付属のハードウエアの保証期限は、お買い上げ日から6ヶ月です。

||||| サポートについて |||||

本ソフトウエアに関するお問い合わせは、<u>ジリオン・ネットワークス株式会社へ直接電子メール</u>をお願いいたします。 また,ホームページ上でもサポート情報をお届けしております。御参照ください。 サポートホームページ <u>http://www.zirion.co.jp/</u> ジリオン・ネットワークス株式会社



ソフトウェア概要

本ソフトウェアは、Windowsを搭載したコンピュータで使用する無停電電源装置(以下、UPS)を監視 するソフトウェア(以下、サーパソフトウェア)と連携するクライアントソフトウェアです。商用電源異常時 のシステムの保護と電源状態の監視、システムの自動運転機能を提供します。

主な特長

オートシャットダウン機能

サーパンフトウェアが停電、低電圧、スケジュール終了の場合、シャットダウンする場合、ク ライアントソフトウェアは連動して シャットダウンします。

ヒストリ管理機能

サーバソフトウェアから通知されたメッセージを受信し、メッセージをポップアップ表示しま

ユーザコマンド実行機能

停電発生時やシャットダウン処理前など、特定のタイミングでユーザが作成したシェルプロ グラムを実行できます。

使用する OS 注意事項

UNIX・Linux、Windows のOS組み合わせによって、サーバソフトウェアとクライアントソフトウェアで連動させる組み合わせに注意してください。

サーバソフトウェア	クライアントソフトウェア	利用 :できる ×: <mark>できない</mark>
UNIX · Linux	UNIX · Linux	
UNIX · Linux	Windows	
Windows	Windows	
Windows	UNIX · Linux	×

動作環境条件

- サーバソフトウェアのコンピュータとクライアントソフトウェアのコンピュータが同一セグメン
- ト上であること
- 12010/udp のブロードキャストが通知または受信できること
- OSのシステム時計が±10分以内の誤差であること(UNIX・Linux使用の場合のみ)
 UNIX・Linuxはネットワーク機能:有効でインストールされていること
 設定で、メッセージ通知がブロードキャストになっていること





1.インストール

インストールの手順を以下に説明します。

OSの種類、バージョンまたはコンピュータの機種によって、本マニュアルが実際と食い違う場合があり ますのでご注意ください。

UPSとの接続

パワーモニタHのインストールされているコンピュータとパワーモニタHクライアントを インストールする コンピュータは、同一のUPS(無停電電源装置)から電源を使用してください。

セットアップ

1-1. インストール前の確認

1-1-1. ネットワークの設定



ネットワークが設定されていることを確認してください。 コントロールパネルの「ネットワーク」アイコンをダブルクリックします。「ネットワークが組み込まれてい ません。直ちに組み込みますか?」のダイアログボックス が表示されたら、次の手順でネットワークを 組み込んでください。

- 1. 「ネットワークが組込まれていません。直ちに組込みますか?」とダイアログボックスが表示され ますので、[OK]ボタンをダブルクリックします。 2. WindowsシステムのCD-ROMドライブのパス名を入力します。

- トランスポートプロトコル(TCP)/IP)を選択します。
 ネットワークアダプタカードを選びます。
 「ネットワークの設定」ダイアログボックスに戻ったら[OK]ボタンを押して、ネットワークを構成します。その後は表示されるメッセージにしたがってください。詳しくは、Windowsのネットワーク設定 ヘルプをご覧ください。
- 6. Windowsを再起動します。
- 7. 再起動後以降の「インストール」手順に従ってソフトをインストールしてください。

1-1-2. Windowsファイアーウォールの設定



Windowsのバージョンによっては、OSに実装されているファイアーウォール機能により、サーバソフトウェア(パワーモニタH)からのブロードキャストメッセージを受信できない 場合があります。次の手順により、使用するネットワークポート番号を許可してください。 (Windows Server2008 OS では必ず設定が必要です。)

- 1. コントロールパネルの「Windowsファイアーウォール」アイコンをダブルクリックします。
- 2. 表示された画面内より「設定の変更」をクリックし「Windows ファイアーウォールの設定」画面を 起動します。

💣 Windows ファイアウォールの設定	×
全般例外】詳細設定	
例外を使用して、Windows ファイアウォール程由でプログラムが動きする方法を制御します。ファイ アウォール経由の通信を許可するには、プログラムまたはボートの例外を追加してください。	
Windows ファイアウォールには、現在ノバフリックネットワークの場所の記定が使用されています。20 ログラムのフロックを解除するとこのような汚染性がありますが3	
例外を有効にするには、チェック ポックスをオンにしてください(T):	
D00M+ 29h7-0 20h72	
RHCL 12010	
DISCSI #-EZ	
□ Netlogon サービス	
Secure Socket ドンネリング プロトコル	
SNMP Trap	
Windows Management Instrumentation (WMI)	
□ Windows ゼギュリティの構成ウィザード	
□Windows ファイアウォールリモート管理	
□ Windows リモート管理	
プログラムの追加(R) ポートの追加(O) プロパティ(D 所形(D)	
「Wedgess フェノアウォール/~ トス#61 / パウパスシノのゴロック#5/~ 通知市場(+1第23/0)	
OK キャンセル 渡用(A)	1
	_

3. 「ポートの追加」ボタンをクリックし、次のように設定値を入力し、[OK] ボタンをクリックします。

くートの追加	
Windows ファイアク プロトコルについては	ォールでボートを聞くには、この設定を使用してください。ボート番号および ま、使用するプログラムまたはサービスのドキュメントを参照してください。
:名前(N):	HCL 12010
ボート番号(P):	12010
プロトコル・	C TOP(T)
	@ UDP(U)
	5.かちまとくコングのようなことできまか?
- TERRECOUNT	

4. 設定したポート番号が例外として有効になります。



5. [OK]ボタンをクリックして終了してください。

1-2.インストール



パワーモニタHクライアントは、パワーモニタHに連携して動作します。パワーモニタHが他のコンピュ ータにインストールされていることを確認してください。 パワーモニタHクライアントは、ネットワークの設定がされている必要があります。



- 1. Windows を起動し、ユーザ名「Administrator」でログオンします。
- 2. 本ソフトウェアのCDをドライブに装着します。
- 3. エクスプローラーを起動し、CDドライブを選択します。CDにあるインストールプログラム エッスフローシーを起動し、UDF オンを送かします。 (¥CLIENT¥WINDOWS¥setup.exe)を起動します。 (注意)インストールプログラムは setup.exe です。setup.exe 以外のファイル でインストールを 実行しないでください。実行した場合、正常にインストールが 完了できない場合が あります。も し、誤ってsetup.exe 以外のファイルでインストールをした場合は、アンインストール して から setup.exe より正しいインストールをしてください
- 4. 「InstallShield ウィザード」が開始されますので[次へ]ボタンをクリックします。
- 5. ソフトウェアのインストール先のフォルダを指定して[次へ]ボタンをクリックします。デフォルトのイ ンストール先パスは c.¥pmolient です。(EM64TやIPF等の64ビットCPUコンビュータで、インスト ールパスを Program files フォルダにする場合の注意)本ソフトウェアは32ビットファイルが含ま ンスト-れています。64ビットのコンピュータで Program files フォルダに インストールする場合は、イン ストール時のパスは Program files (x86) フォルダ になります。 (例) C:¥Program files (x86)¥pmclient
- (1) ひがうムフォルダを指定して、[次へ]ボタンをクリックします。
 7.「ファイルコピーの開始」で現在の設定内容を確認します。確認後[次へ]ボタンをクリックすると、 インストールが開始されます。
- 8. 正常にインストールが終了すると終了画面が表示されます。[完了]ボタンをクリックします。
- インストール完了後、「UPS クライアント」グループに次のようなアイコンが登録されます。また、 「スタートアップ」にメッセージをポップアップするツールが登録されます。



10. 「スタートアップ」に登録された「CL message tool」を起動してください。 11. 次の1-3.サービスの起動に進んでください。

1-3.サービスの起動

本ソフトウェアを使用するには、本ソフトウェアのサービスをコンピュータに登録して開始します。



スタートメニューの「管理ツール」→「サービス」を選択すると、以下の画面が表示されます。
 次に、「UPS Client」サービスの設定を行います。表示されているリストをスクロールして「UPS Client」の行をクリックして選択します。

Q.7-EX				
271/6(F) 1917(A)	表带(V) A342040			
** 10 0 0	S Bmi + # # # #			
Q #-EX (0-5%)	Q 7-EX (0-5%)			
	UPS Client 2-020092	Thread Ordering Se. Thread Ordering Se. Thr Backer Services Uther Device Hoat Uther Device Hoat Uther Device Hoat Windows Audio Windows Audio Windows Audio Windows Child Windows Child Windows Driver Fo.	秋明 秋明 補定。 システ この力。 第62、 ジステ この力。 第64、 ダイス。 パック。 Windo。 WeaPL、 ユーザ。 調告:	(スタートアップの種語) 中約 中約 日約 日約 日約 日約 子約 子 书
		Windows Event Col.	2019.	-++

- 3. 選択した行に「開始」の表示が含まれていたら、[停止]ボタンをクリックして、本ソフトのサービス を一旦停止します。
- と 上げ しなう。 、 「スタートアップの種類」が「手動」の場合は、「自動」に変更してください。 これで本ソフトのサービスが、コンピュータの立ち上げ時に自動的に開始されます。 ※すでに「自動」になっている場合は変更の必要はありません。
- 5. [開始]ボタンをクリックすると、サービスが開始されます。 6. コントロールパネルを終了します。





2.動作確認

インストールが終了したら、以下の手順で本ソフトが正常に動作しているかを確 認します。

2-1. サービス開始のチェック サービスが正常に開始しているか確認します。

- 1. スタートメニュープログラムの「UPS クライアント」グループにある「動作条 件」を起動します。

動作条件設定	×
シャットダウン 木スト スタリフト ヒストリ	
-549-1805-	
(有効 (無効	
シェックトがウンジ車564条開 (0-9999)(作約1 30	
OK *	やンセル

2. [ヒストリ] のページを選択し、「サービスを開始します(127.0.0.1)」が記録さ れていることを確認します。

17% EXM		
ログ件数(0-1000):	1000	表示の更新
サービスを開始します(1270	0.1)	
2 -CABROG 9(12/0	<i>W</i> .17	
		•
	ログ件数(0-1000): サービスを開始します(1270	ログ科教(0-1000): 「1000 サービスを開始します(12700.1)

- 上記のメッセージが表示されていれば、サービスが開始されています。
 スタートアップに登録された「CL message tool」が起動しているかを確認してください。起動後、タスクバーにアイコンが表示されます。



2-2. サーバソフトウェア側 設定の確認 サーバソフトウェア側の動作設定環境を確認します。



サーバソフトウェア側の設定で、メッセージのブロードキャストが設定されているこ とを確認してください。

- 1. スタートメニュープログラム、「パワーモニタH」グループの「動作条件設定」
- スケーケーユークリンス、バケービーケーブリンルークの「動作宗件政定」 を起動します。
 「ブロードキャスト」ページを選択します。
 「PM message tool への通知」または、「クライアントソフトへの通知」の設 定が「ブロードキャスト」に選択されていることを確認します。 下記の画面はサーバソフトウェアの設定画面の一例です。ソフトウェアの ためにしたまった内が思われたす。 種類により表示内容が異なります。

	装装作条件款定
	スクリフト 出力コントロール 自己診断 UPS /パスワード SNMPトラップ メール ライセンス 潮信ボート 停止処理 スケジュール プロードキャスト ヒストリ
	PM message tool への過知 メッセージボップアップツールへの通知方法を設定します。 ① ⑦⑦一下年マスト ① Local のみ ① なし (生)実更された場合は、サービスを再起動してください
	 OK キャンセル
	 サーバソフトウェア側で、「ブロードキャスト」の設定になっていない場合は 「ブロードキャスト」に設定してください。設定変更方法についてはサーバソ フトウェア側のマニュアルを参照してください。 サーバソフトウェア側で、「Power Monitoring」サービスが開始されていることを確認します。
	2-3. メッセージ表示のチェック メッセージ表示が正しく行われるか確認します。
操)作 手)順	1. UPS の電源コンセントを抜いて停電状態をつくります。 2. 次のメッセージが表示されることを確認します。
	UPS Client 2008/06/25 12:03:02 From: 192:43:189:39 電源具常が発生しました!
	ОК
	 UPS のコンセントをさして、復電します。 次のメッセージが表示されることを確認します。
	UPS Client 2008/06/25 11:59:08 From: 192:43:189:39 1変電しました・・・
	OK
	メッセージダイアログは、ログオフ状態では、表示されませんが、自動シャットダ ウンはします。
	2-4. シャットダウン動作のチェック シャットダウン動作が正しく行われるか確認します。
操作手順	 UPSの電源コンセントを抜いて停電状態にします。 150秒以上(停電確認時間)そのままの状態を保ちます。 150秒以上(停電確認時間)経過すると次のメッセージがクライアント側で表示されることを確認します。
	UPS Client 2008/06/25 120815 From: 12700.1 シャットダウン連延時間のカウントダウンを開始します
	ОК
	 サーバ側のUPSのコンセントをさして、復電します。 メッセージの表示後、約30秒(シャットダウン遅延時間)が経過すると、次の メッセージを表示、シャットダウンが実行されます。
	UPS Client 2008/06/25 120846 From: 12700.1 シャットダウンを開始します
	OK





3.基本動作

サーバソフトウェアからのメッセージ(12010/udp)ブロードキャストメッセージを受信することにより、停電時及びスケジュール運転時のシャットダウンが可能になります。

3-1. シャットダウン

3-1-1. 停電発生時

サーバソフトウェア側で停電発生時は、クライアントのWindows画面上に次のよう なメッセージがポップアップされます。

PS Client	
2008/06/25 12:03:02	From 192,43,189,39
電源具	常が発生しました!
_	
L	OK

停電開始から、サーバソフトウェア側で設定した"停電確認時間"が経過する、または、バッテリ電圧低下の状態になると次のメッセージが ポップアップされます。

U	PS Client	
	2008/06/25 14:07:51	From: 192.43.189.39
		シャットダウンします
		ОК
	ャットダウン実行処理	とが有効な場合は次のメッセージを表示しま

Client	
2008/06/25 120815	From: 12700.1
シャットダウン遅延に	制限のカウントダウンを開始します
	~

シャットダウン遅延時間が経過すると、OSを自動シャットダウンします。

3-1-2. スケジュール運転での停止時

サーバソフトウェア側で指定したスケジュール終了時刻がくると、クライアント側の Windows画面上に次のようなメッセージがポップアップされます。

5 Client	
2008/06/25 14:07:51	From: 192.43.189.39
\$	ャットダウンします
[OK

この時、シャットダウン実行処理が有効な場合は次のメッセージを表示します。

UPS	Client	
	2008/06/25 12:08:15	From: 127.0.0.1
	シャットダウン速	E時間のカウントダウンを開始します
		ОК

シャットダウン遅延時間が経過すると、OSを自動シャットダウンします。



メッセージダイアログは、ログオフ状態では、表示されませんが、自動シャットダウンはします。

💽 📢 📙 🕨



スタートメニュープログラムの「UPS クライアント」グループにある「動作条件設定」を起動します。 設定する項目は、関連のあるものごとに、いくつかのページに分けられています。 各項目の変更内容を有効するには、変更後 [OK] ボタンをクリックしてください。 キャンセルすると、変更内容が反映されません。 同一UPSに接続しているサーバソフトウェア側の UPS自動停止時間 は、サー パとクライアント両方のOSがシャットダウンが完了できる十分な時間を設定してく ださい。
各項目の変更内容を有効するには、変更後 [OK] ボタンをクリックしてください。 キャンセルすると、変更内容が反映されません。 同一UPSに接続しているサーバソフトウェア側の UPS自動停止時間 は、サー バとクライアント両方のOSがシャットダウンが完了できる十分な時間を設定してく ださい。
同一UPSに接続しているサーバソフトウェア側の UPS自動停止時間 は、サー バとクライアント両方のOSがシャットダウンが完了できる十分な時間を設定してく ださい。
4-1. シャットダウン のページ 停電が発生したときの時間を設定します。
か作条件設定 ジャッドダウン ・シャッドダウン ・シャッドダウン ・シャッドダウン ・シャッドダウン ・シャッドダウン ・シャッドダウン ・シャッドダウン ・シャッ ・ジャッ ・ジャッ ・ジャッ ・ジン ・ジョ ・ジャ ・ジン ・ジャ ・ジ ・ジャ ・ジ ・ジャ ・ジ ・ジ ・ジ
 シャットダウン サーバ側で停電などが起こり、回復不能とみなされたとき、クライアント側をシャットダウンするかどうかを指定します。 「ホストのページ」で、指定ホストを選択した場合には、指定されたホストに同期してシャットダウンが有効になります。 シャットダウン遅延時間 シャットダウン処理に入ってから、実際にシャットダウンを行うまでの待機時間を指定します。この間にサーバ側の電源が回復してもシャットダウン処理は継続されます。デフォルトは30秒です。設定範囲は0~9999秒です。
4-2. ホストのページ シャットダウンの有効・無効の対応ホストを設定します。
 シャットダウン対応ホスト 全てのホストを指定した場合は、同一セグメント内のサーバソフトウェアが動作しているホストと連動して動作します。 指定ホストを指定した場合は、同一セグメント内の指定したサーバソフトウェアが動作しているホストに連動して動作します。 削除ボタン 削除したいホストの右端のチェックボタンにチェックを入れ、削除ボタンを押すと、選択したホストが削除されます。
動作条件設定 NATE TAXABLE AND A LANDAU AND A L
- シャットダウン対応ホスト 「全てのホスト C 指定ホスト
1 1 1 1 1 1 1 1 2 1 1 1 1 1 1 1 3 1 1 1 1 1 1
4 E · · · · 8 E · · · · · · · · · · · · ·

実行してい。 回該不能とみなされたとき	
スクリプト起動	
(有助 (無助	
コマンドライン CWpmclientWupsrc1 bat	

スクリプトの実行 本ソフトは以下の各段階ごとに、起動するスクリプト(バッチファイル)を設定する ことができます。

- 回復不能とみなされたとき
 停電発生時
 復電時
 スケジュール運転での停止時



- 「実行レベル」を選択します。
 選択した実行レベルでスクリプトを起動するかを、[有効][無効]ボタンで
- 設定します。
 - 3. [有効]にした場合は、「コマンドライン」に実行するパッチファイルを**絶対パ ス**で設定します。「無効」にした場合は、そのレベルではパッチファイルは 起動されません。

4-4. ヒストリのページ

クライアント側で受け取ったメッセージと、サービスの開始・停止状態が表示され ます。

加华条件設定				×
シャットダウン ホスト ス	M77 ビストリ			
障害の記録	口グ件数(0~1000):	1000	表示の更新	1
2008/08/26 14443 2008/08/25 14445 2008/08/25 14075 2008/08/25 14075 2008/08/25 12081 2008/08/25 12081 2008/08/25 12081 2008/08/25 12074 2008/08/25 12074 2008/08/25 11505 2008/08/25 11422	0 サービス登録法します(1270) 2 サービス将停止します(1270) 5 シャットラインます(1270) 5 シャットラインを開始します(1270) 5 シャットラインを開始します(1270) 4 シャットラインを開始します(1270) 6 営業単立・シャットライムます(1270) 8 営業はたい・・(19243) 8 営業はたい・・(19243) 8 営業はたい・・(19243) 8 営業はたい・・(19243) 8 営業はたい・・(19243) 8 営業はたい・・(19243) 8 営業はたい・・・(19243) 8 営業はたい・・・(19243) 8 営業はたい・・・(19243) 8 営業はたい・・・(19243) 8 営業はたい・・・(19243)	11) 11) 27001) 27001) 9230) 924310920 30) 1924310930 30) 1924310930 30)	.#:#(127003)	
		OK	キャンセル	

表示の更新ポタン

[表示の更新] ボタンを押すと、障害の記録項目の内容を最新のものに更新しま す。

ログ件数

ロンド数 障害の記録の最大表示件数を設定します(0~1000)。 ログ件数が最大件数を超えると、古いものから順番に削除され、最大ログ件数で 記録されます。

ログファイルはインストールディレクトリ下に upclient.log ファイル名で記録され ています。このファイル名は固定となっています。任意に編集しないでください。





5.アンインストール

アンインストールは、インストールされているソフトウェア(プログラム)一覧表から削除します。 -覧表はOSごとに起動方法が異なります。 (注意)-



「PowerMonitorHクライアントの削除」は、本ソフトウェアアプリケーションが動作していないことを 確認の上実行してください。

・WindowsServer2008 の場合

- Administratorでログインします。
 「スタート」メニュー「コントロールパネル」から、「プログラムと機能」を選択します。
 「プログラムのアンインストールまたは変更」一覧から「PowerMonitorH Client」を選択し、 アンインストールと変更」をクリックします。



・WindowsServer2003 の場合

- 1. Administratorでログインします。
- 「スタート」メニュー「コントロールパネル」から、「プログラムの追加と削除」を選択します。 現在インストールされているプログラム一覧から「PowerMonitorH Client」を選択し、「変更 3.
- と削除」ボタンをクリックします。



・Windows2000 の場合

- 1. Administratorでログインします。
- 「スタート」メニュー「設定」「コントロールパネル」から、「アプリケーションの追加と削除」を 2.
- 選択します。
- 現在インストールされているプログラム一覧から「PowerMonitorH Client」を選択し、「変更 と削除」ボタンをクリックします。 3.





「CL message tool」が起動している場合は、アンインストール作業が途中で中断します。「CL message tool」を終了させてからアンインストールを完了させてください。

「CL message tool」の終了方法

1. デスクトップのタスクバー上で「CL mesasge tool」アイコンを右クリックします。 1. 2 2 11.49

2. <u>右クリックメニュー</u>より「QUIT」選択でツールを終了させます。





アンインストール実行時に、リモートデスクトップ等により、他ユーザがログイン中の場合は、 「CL message tool,などアプリケーションツールのプロセスが動作し続けている場合があります。 この場合、アンインストールが正しく完了できない場合があります。ログイン中のユーザがいる 場合は、必ず自分自身以外のユーザがログオフしていることを確認してください。

